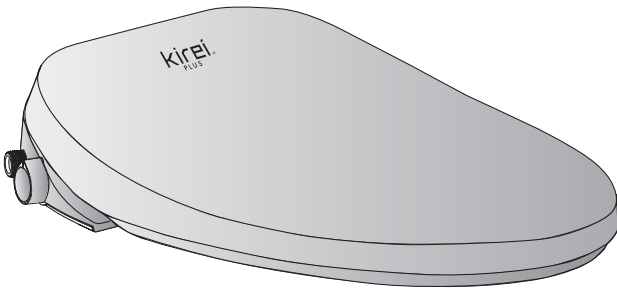


取扱説明書

ハイブリッド式水圧温水洗浄便座

品番: **HY-003S** シリーズ

kirei®
PLUS
キレイプラス



保証書・施工説明書同梱

杉半製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- 説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日、販売店」などを確かめ記載の上、大切に保管してください。
- 説明書のイラストはHY-003Sで説明しております。
- 最大瞬間消費電力1450W
使用電力量が低いご自宅では、ブレーカーが落ちる可能性があります。設置前に必ずご確認ください。ご確認いただかないでご購入された場合は返品を受け付けかねます。
- 瞬間式で洗浄水を温めるので、気温が下がる冬場は最初の洗浄水吹き出し温度が上がりきらない場合がございますが、製品の故障ではありません。洗浄水量を絞り、温め能力を集中させることで洗浄水温が設定温度まで上昇します。

もくじ

「確認と準備」

- 安全上のご注意……………② ③
(必ずお守りください)
- 各部の名称と同梱部品の確認……………④ ⑤
- 施工前の確認……………⑥ ⑦
- 施工の流れ……………⑥ ⑦

「取付方法」

- ①止水栓を閉める……………⑧
- ②分岐継手を取り付ける……………⑨
- ③給水ホースを……………⑨
分岐継手に取り付ける
- ④既存便座の取り外し……………⑩
- ⑤製品を取り付ける……………⑪

「各種機能設定と使い方」

- 機能の説明……………⑫ ⑬

「お手入れ / メンテナンス」

- 凍結予防方法と使用再開方法……………⑭ ⑮
- お掃除の際の注意事項
- ノズル・フィルター……………⑯ ⑰
- 製品が急に使えなくなった時……………⑱ ⑲

- 「保証とアフターサービス」……………⑳

確認と準備

取付方法・機能の説明

お手入れ・必要な時

安全で快適にご使用いただくための 注意事項(必ずお守りください)

人体への危害、財産への被害を防ぐため、必ずよくお読みになり、お守りください。

誤った使い方で生じる危害や被害を区分し、図記号で説明しております。



警告 【死亡】、【重傷】を負う可能性のある内容



注意 【軽傷】、【財産】への被害が生じる可能性のある内容



禁止行為です。
故障の原因となります。



必ず行わなくていけない内容です。
怠った場合、故障や事故の原因となります。

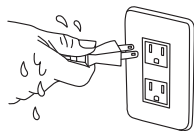
火災・感電の可能性

■電源コードとコンセントは誤った使用をしない。

電源コード、コンセントは損傷させるような使い方をしない。

- 故意に傷をつける
- 自身で改造、加工をする
- 高温物に接触させる
- 無理に曲げる、ねじる、引っ張る等
- 重量物を載せる
- 束ねる

●手が濡れた状態で、電源コードとコンセントの抜き差しを行わない。



●AC100V以外での使用厳禁と、コンセントや配線器具(たこ足等)で定格を超える使い方をしない。

- 電源コードをコンセントに、根元まで確実に差し込む
- 電源コードの抜き差しは、コードを引っ張らずプラグを持つ。
- 電源コードとコンセントの周囲のほこりは、定期的に掃除する

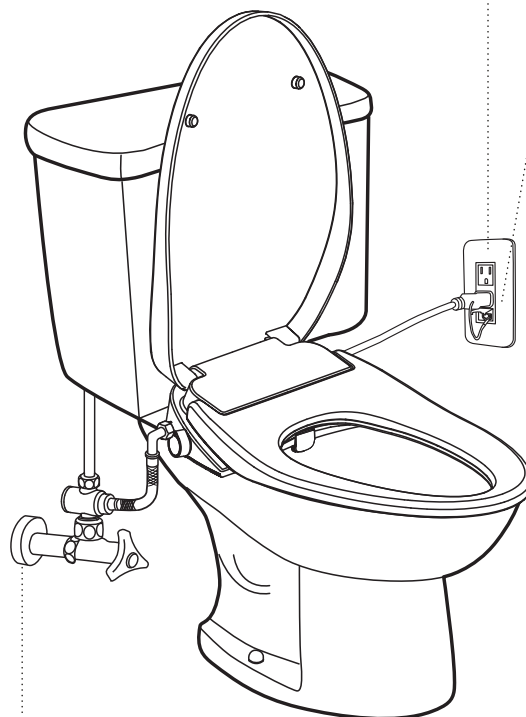
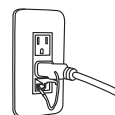
●本体、本体の裏側(機械部)に水や洗剤をかけない(故障、感電、ショート、漏電等の原因となり、火災の危険があります)



■アース線を確実に接続する

<アース接続例>

アースを接続していないと、漏電の際に感電する恐れがあります



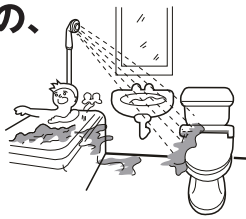
■上水道への接続を推奨します

※工業用用水や、井戸水をお使いの環境の方向け
Kireiシリーズは分岐継手、給水ホースにフィルタを搭載しているため、井戸水でも洗浄機能をお使いいただけます。しかし、上水道供給以外の水で洗浄機能を長期間使用するとぼうこう炎や皮膚の炎症等を起こす原因となります。ご利用の際は、お客様の責任でお使いください。



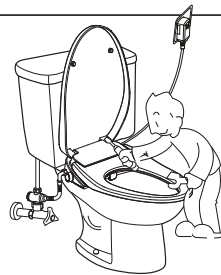
**■ユニットバスなどの、
湿気や水が
直接かかる環境
では設置しない**

(火災、感電の原因)



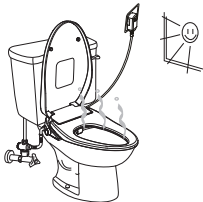
■改造や分解をしない

(感電、発火による火災、
機能異常等による、
けがや事故(死亡含む)
の原因)



**■直射日光の当たる
場所に設置しない**

製品の変色や、
温度調節機能の故障の
原因となることがあります



**■ノズルに排泄物を
かけない**

洗浄機能の故障の
原因となります



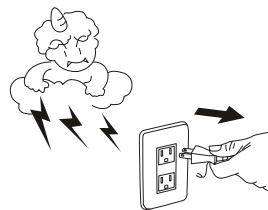
**■便ふたに座らない、
寄りかからない**

便ふたの破損の原因となります



**■落雷の可能性が
ある際は、
電源プラグを抜く**

製品の破損の
原因となります



**■氷点下(0℃以下)の
環境下に設置しない**

氷点下(0℃以下)の
環境下に設置すると、凍結し
故障の原因となります



**■長期間使用されない際は、
ドレン排水口から
水を抜き、
電源プラグを抜く**

水質汚染による、
皮膚感染症を予防します



**■AC100V電源以外で
使用しない**

製品故障の原因となります

低温やけどの可能性

**■下記の方がご使用に
なる際は、温暖便座機能を
オフにしてください**

- お子様 ●お年寄り
- 皮膚の弱い方 ●皮膚の感覚が弱い方
- 自身で温度調節機能を制御できない方
- 眠気を伴う薬を内服されている方
(催眠薬、風邪薬等)
- 泥酔している方 ●疲労の激しい方

(長時間便座に座わり、
皮膚の同じ個所が便座にふれていると、
低温やけどの原因となります。
安全機能により、5分連続使用後は
便座の温度は下がりますが、低温やけどを
完全に防ぐものではありません)



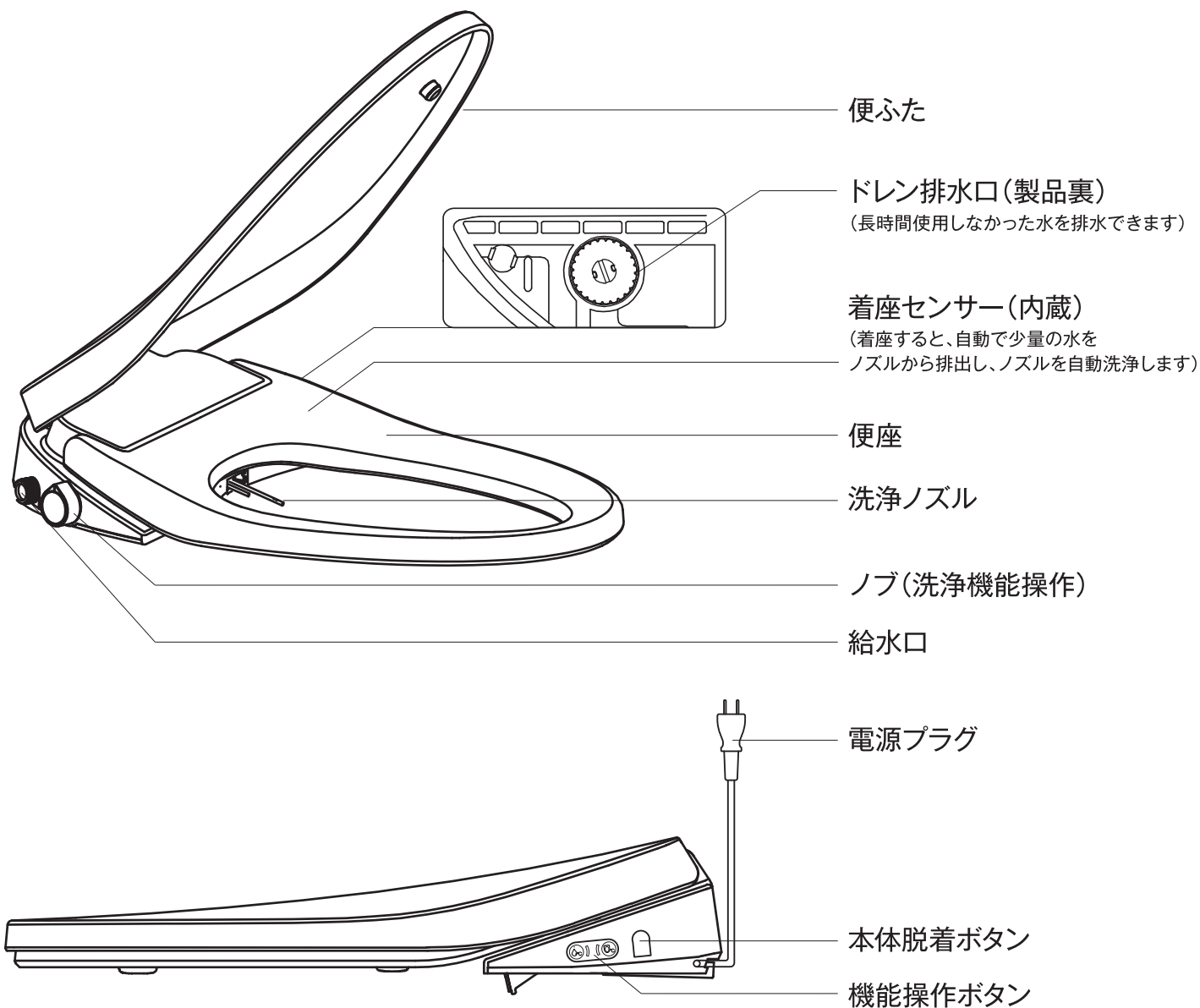
**■異常・故障と感じたら、
直ちに使用を中止し、
電源コードをコンセントから抜き、
止水栓を閉めてください**

- 警告音が鳴りやまない
- 本体や便座にひびが入っている
- 異常な音や焦げ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- 本体や操作部が異常に熱い

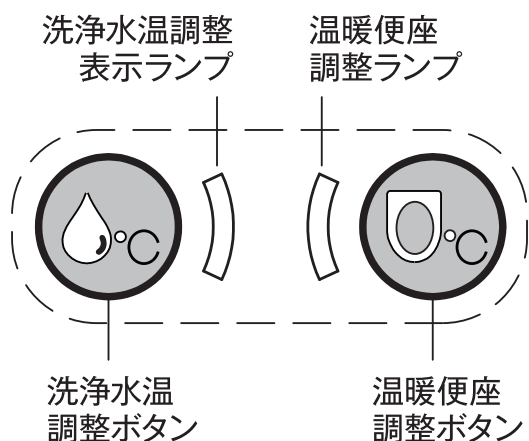
**■化学療法を受けている、免疫不振の方、
免疫力が低下している方は、
ご使用前に製品の使用について、
医師にご相談の上ご使用ください。**

(人体への障害を発生させる可能性あり)
幼児又は病弱者がこの機器を使用する場合は、
近くに必ず監視者が必要です。

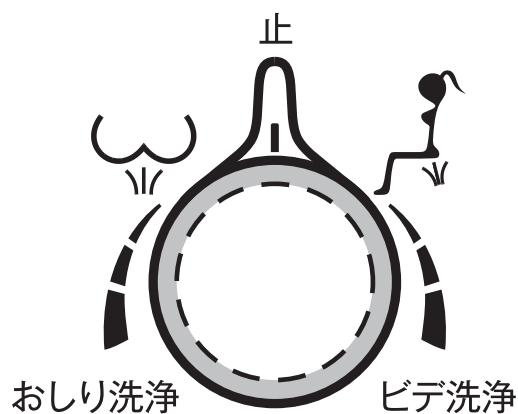
各部の名称と同梱部品の確認



機能操作ボタン

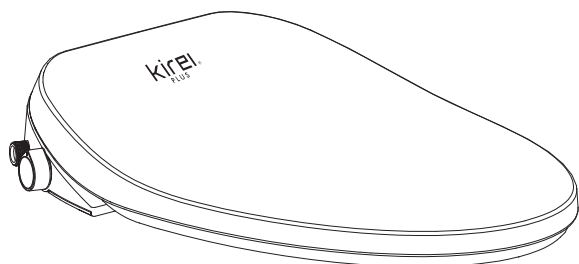


ノブ(洗浄機能操作)

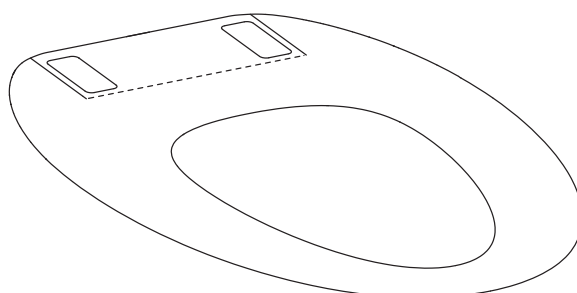


同梱部品

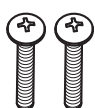
① 便座本体



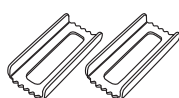
② 型紙(本体取付位置決め用)



③ 取り付けボルト



④ ワッシャー



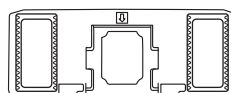
⑤ 取付ボルト用
ナット



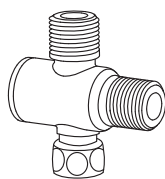
※既存の取り付けボルトの長さが、
便器に対して足りない場合
オプションで
100mmの取付ボルトを
お買い求めください。

⑦ 固定部品
(下からナット締め
できない便器に
のみ使用)

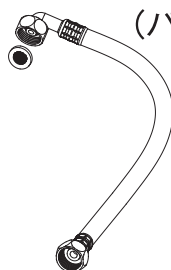
⑥ ベースプレート
(本体固定板)



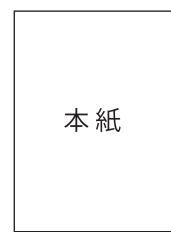
⑧ 分岐継手
(フィルター・パッキン付)



⑨ 標準50cm給水ホース
(パッキン付)



⑩ 説明書



※フィルター部にパッキンが装着されています

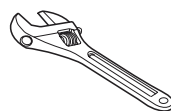
ご準備いただくもの



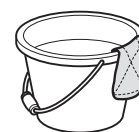
マイナスドライバー



プラスドライバー



モンキーレンチ・
スパナ(23mm用推奨)



バケツ・ぞうきん

確認と準備

取付方法・機能の説明

お手入れ・必要な時

施工前の確認

⚠ 施工前の注意事項

水圧範囲:0.1~0.75MPa内でご使用ください。 止水栓が便器のそばにあり、自身で開け閉め可能か、既存便座が下からナット締めで固定されているか、最初にご確認ください。 止水栓がない場合は、自身での取り付けを行わず、専門業者へご依頼ください。

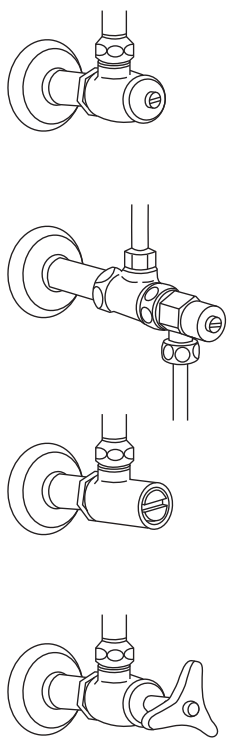
⚠ 設置上の注意事項

- 本体の取り付けが完了するまで、電源コードをコンセントに接続しない
- 本体内の残水が凍結している場合、温かい部屋で解凍し、残水が溶けてから取付を行う

施工の流れ

① 止水栓を閉める

※自身で開閉できる止水栓のみ
DIY可能

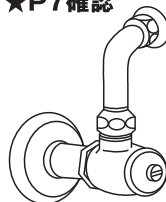


床から立ち上がっている
止水栓の場合もあります

② 分岐継手を取り付ける

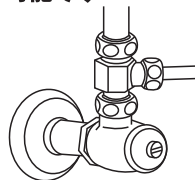
給水管が短い場合や
手で曲げられない
管で接続されている場合

別途部材が必要です
★P7確認



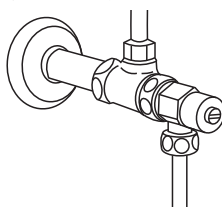
既存の分岐継手が
下図タイプ

自身での取付工事が
可能です



既存の分岐水栓が
下図タイプ

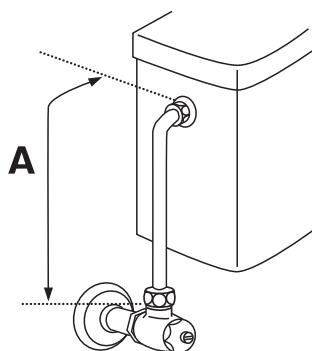
自身での取付工事は
行わず専門業者へ
依頼してください



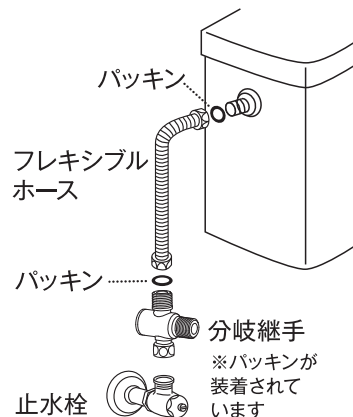
③ 給水ホースを分岐継手に取り付ける

★ 給水管の長さの種類の確認

給水管が手で曲げられない鋼管(サプライ管)で接続されている場合(右図)、別途フレキシブルホースの市販品を購入する必要があります。
現在お使いの給水管の長さ(A)を事前に測り、お近くのホームセンター等で購入してください。



[フレキシブルパイプの設置例]



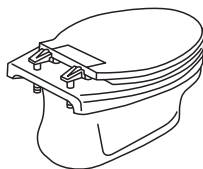
④

既存便座を取り外し

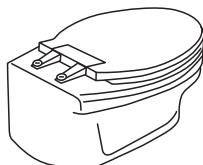
⑤

製品を取り付ける

●下から
ナット締めが
可能な便器
(P9 3A参照)



●下から
ナット締めが
できない便器
(P9 3B参照)



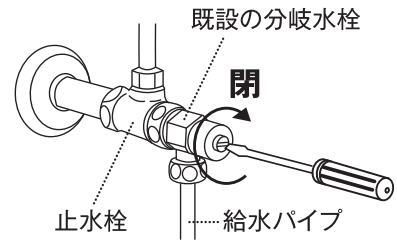
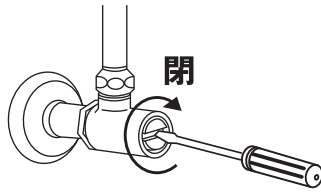
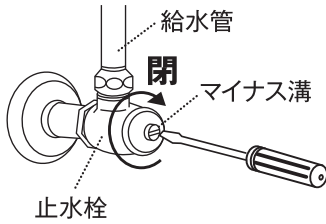
⑥

アースを接続し止水栓を開ける

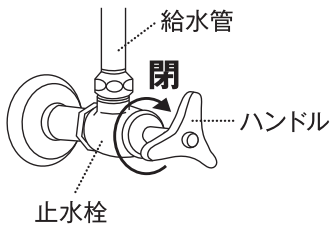
① 止水栓を閉める

! 止水栓がない、自身で開閉できない場合は、
ご自身での取付を中止し専門業者へ依頼してください

マイナス溝タイプ



ハンドル(蛇口)タイプ

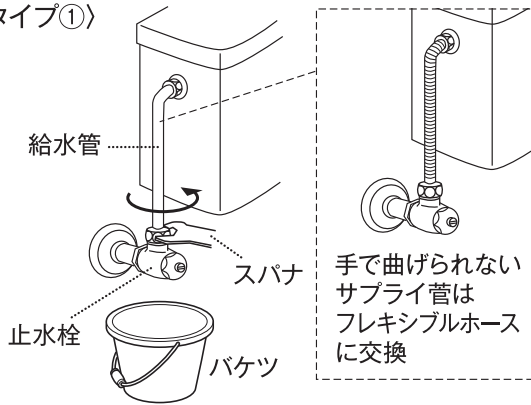


止水栓を閉めた後、
フラッシュタンク内の水を
空にしてください

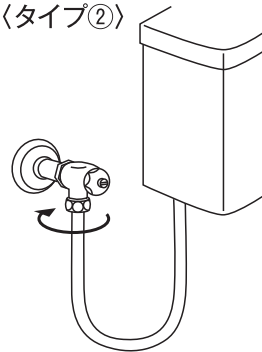
② 分岐継手を取り付ける

① 止水栓を完全に閉めたら、給水管(鋼管、またはフレキシブルパイプ)を外す

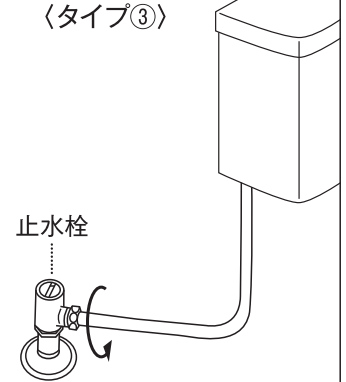
〈タイプ①〉



〈タイプ②〉



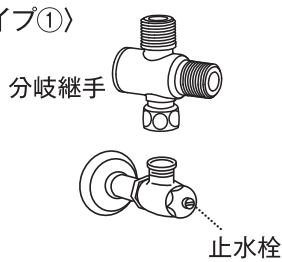
〈タイプ③〉



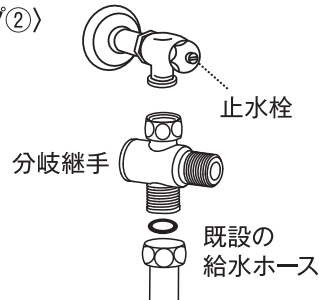
●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

② 同梱されている分岐継手を止水栓に取り付ける ※分岐継手にパッキンは装着されています

〈タイプ①〉



〈タイプ②〉

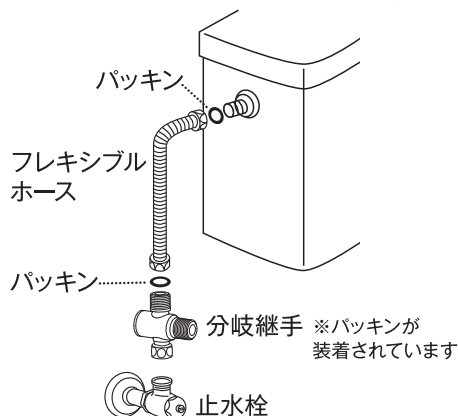


〈タイプ③〉



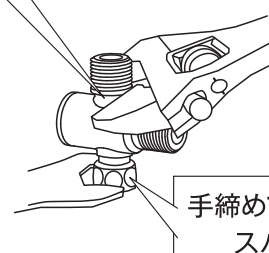
③ 給水ホースを 分岐継手に取り付ける

分岐継手とロータンクを接続する



分岐継手の締め方

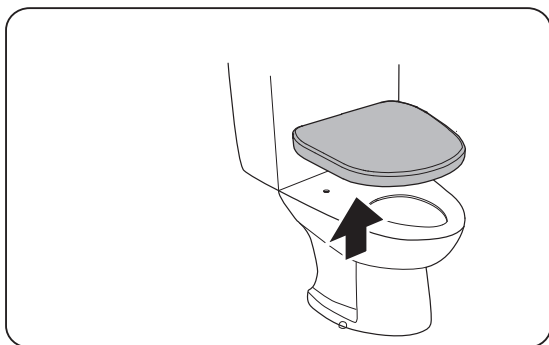
遊び部による回り防止のため、
モンキーレンチ等で
この部分を固定し締める



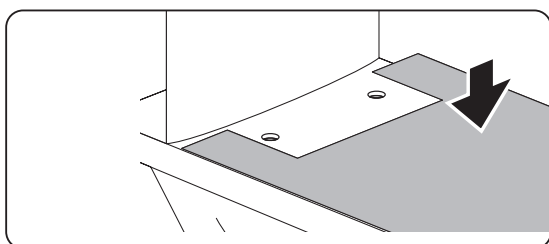
手締めで仮締めを行い、
スパナで締める

④ 既存便座の取り外し

● 既存便座を取り外し、ベースプレートの取り付け



ナット締めされているナットを外し、
既存便座を取り外します。

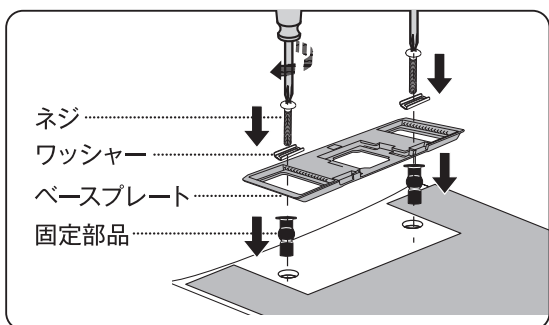


型紙(本体取付位置決め用)の設置

型紙を図のように、便座を設置したい位置に設置します。
(型紙を置いたイメージが、便座取付後の位置となります。
便器の先頭に合わせると、きれいな形で設置できます)



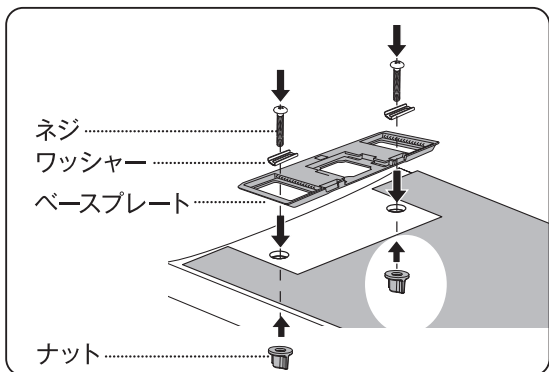
既存便座が下からナット締めされている場合は②、いない場合は①をご参照ください



① ベースプレート(本体取付板)の取付

※下からナット締めできない場合

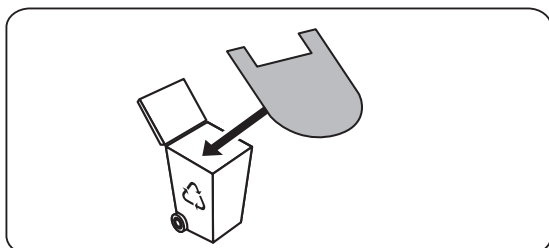
- ① 固定部品を便器の穴に挿入し、その上にベースプレートを置く。
- ② ベースプレートの左右の隙間にワッシャーを挿入、ワッシャーにボルト通し、プラスドライバーで締めることで、固定部品とボルトを固定します。



② ベースプレート(本体取付板)の取付

※下からナット締めできる場合

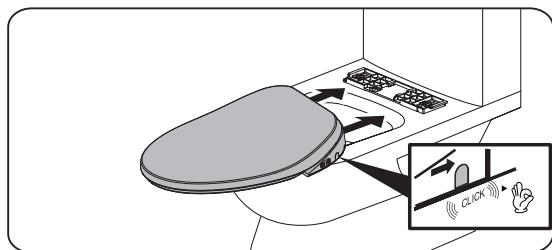
- ① ベースプレートを置きます。
- ② ベースプレートの左右の隙間にワッシャーを挿入、ワッシャーにボルト通し、裏からナット締めを行います。



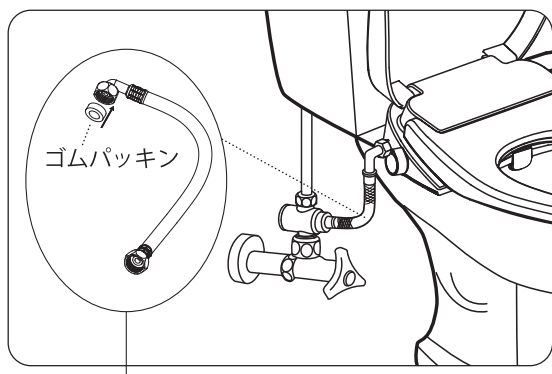
型紙(本体取付位置決め用)を取り外す

ベースプレートの固定が完了したら、型紙を外し廃棄してください。
便座設置後、型紙が残っていると
製品とトイレ環境を汚す原因となります。

⑤ 製品を取り付ける



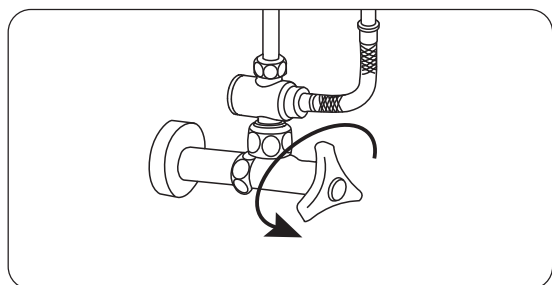
便座本体を図の方向に、「カチッ」という音になるまでゆっくり押し込んで下さい。音が鳴ったら便座の固定完了です。



ホースの取り付け方向は、取り付けしやすい方向で接続してください。方向による能力の差はありません。

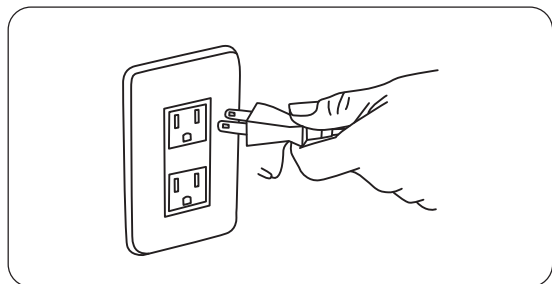
分岐継手と給水ホースの接続

分岐継手に給水ホースを取り付けた後、給水ホースの反対側を便座に接続します。
※接続部が金属製の場合は、工具を用いて締めてください。接続部がプラスチック製(どちらか片方含む)の場合は、必ず手締めしてください。接続部破損の原因となります。



止水栓を開ける

分岐継手と便座を給水ホースで接続した後、止水栓を開け水を便座とフラッシュタンクに供給します。



電源プラグをコンセントに接続する

必ず手が乾いている状態で行ってください。事故の原因になります。必ずアース線を接続してください。

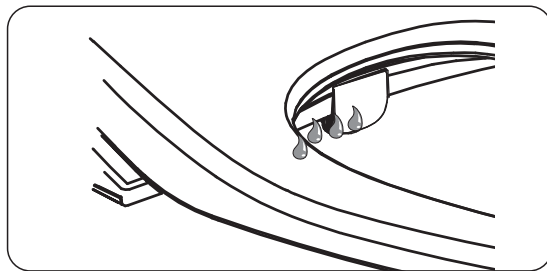
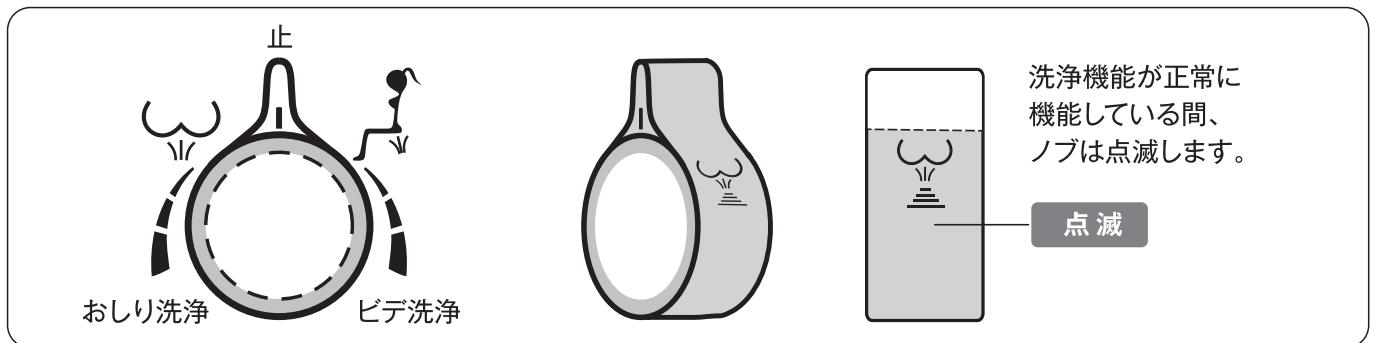
推奨：本製品は、水を内部に貯蓄し水回り場所で使用される機器の為、万が一の備えとして、感電防止用の漏電遮断器を導入することを推奨します。

機能の説明

ご使用前に

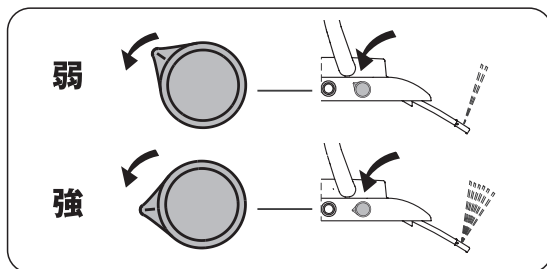
- コンセントに電源コードを接続する前に、電源コードが乾燥していることを確認する
(濡れていると感電する可能性があります。)
- 電源コードを接続すると、便座が自動でセルフチェックを行い、完了すると使用可能になります。
- 水温調整は、[省エネ]設定では約35℃に設定されております。
- 便座温度調整は、[省エネ]設定では約33℃に設定されております。(最低温度)
- 電源コードをコンセントに接続すると、ノブ(洗浄機能操作)は常に点灯します。
温水洗浄、温暖便座を使用しない場合でも、月に約1kWhを消費します。

ノブ(洗浄機能操作)の機能



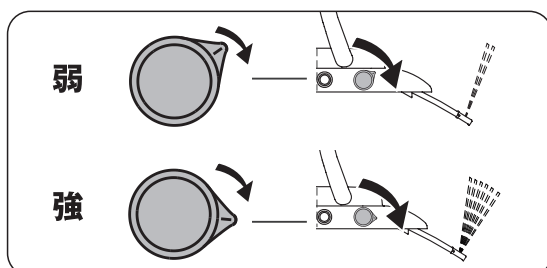
自動洗浄機能

- 便座に着座すると、着座センサーが働きノズルが半分開きます。その後約5秒間水を排水し、洗浄ノズルを自動洗浄します。
- 洗浄機能を使用した後約2秒間排水し、ノズルを自動洗浄しノズルが閉まります。



おしり洗浄(後ろに傾ける)

- ノブ(洗浄機能操作)は図のように縦に動きます。
- 着座センサーの働きで、最初の5秒間は常温水でノズルの自動洗浄を行い、その後温水洗浄を吐出します。
- ノブ(洗浄機能操作)の傾きで洗浄水圧を調節することができます。
- ノブ(洗浄機能操作)は図のように縦(後ろに傾ける)に動きます。



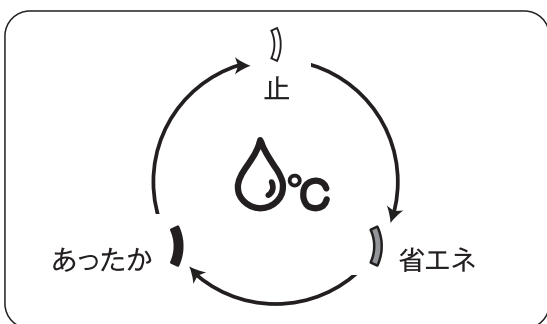
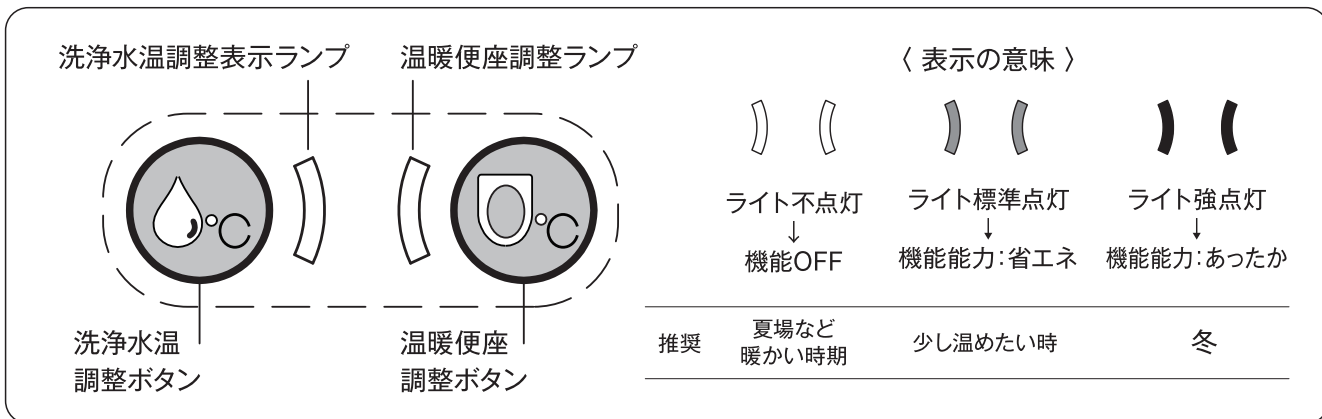
ビデ洗浄(前に傾ける)

- ノブ(洗浄機能操作)は図のように縦に動きます。
- 着座センサーの働きで、最初の5秒間は常温水でノズルの自動洗浄を行い、その後温水洗浄を吐出します。
- ノブ(洗浄機能操作)の傾きで洗浄水圧を調節することができます。
- ノブ(洗浄機能操作)は図のように縦(前に傾ける)に動きます。

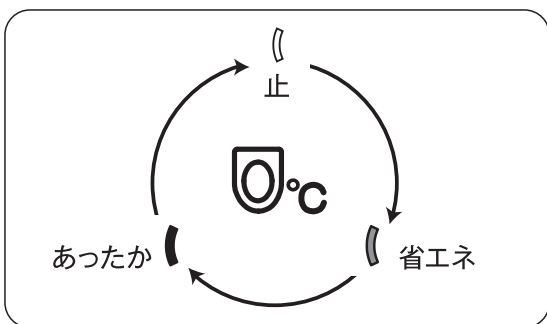
機能操作ボタン(温度調節)



温度調整機能は環境下によっては±2℃の誤差が生じることがあります。
温かさが足りない際は強設定いただくことを推奨いたします。



- 左の図のように、洗淨水温調整ボタンを押すたびに、洗淨水の温度が変わります。
- 洗淨水温調整ボタンを押し、洗淨水温をオフにする際は約2秒“ピッ”という音が鳴ります。
洗淨水温調整ボタンを押し、洗淨水温を切り替える際は約1秒“ピッ”という音が鳴ります
- 洗淨水の設定温度は、[省エネ]指定時は35℃、[あったか]指定時は38℃設定です。



- 左の図のように、温暖便座調整ボタンを押すたびに、便座の温度が変わります。
- 温暖便座調整ボタンを押し、温暖便座をオフにする際は約2秒“ピッ”という音が鳴ります。
温暖便座調整ボタンを押し、温暖便座の温度を切り替える際は約1秒“ピッ”という音が鳴ります
- 温暖便座機能の設定温度は、[省エネ]指定時は33℃で、[あったか]指定時は37℃設定です。

■安全機能

- 低温やけど防止機能:温暖便座機能使用時、着座後5分経過すると、低温やけどを防止するため、便座温度を29℃まで自動的に下げます。
- アラーム機能:着座をしないで洗淨機能を使うと、警告音がなります。※洗淨水は吐出されません
- 洗淨水温の保護機能
 - ①洗淨機能の使用時、水温が43℃を超えると、洗淨水が停止し、自動的にノズルのセルフクリーニングモードに切り替わります。
 - ②洗淨水温が正常に戻った後、洗淨を再開・継続することができます。
※洗淨機能を利用した後、ノブを必ずストップ(真ん中)位置まで戻してください。
ノブを戻し切らない場合、洗淨水が飛び出し、周囲を汚す可能性があります。

■災害時でも使えます

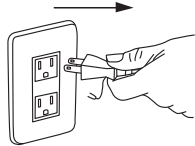
災害時や停電時でも、水道圧さえ利用できれば「おしり洗淨」「ビデ洗淨」機能が使用できます。
通電するまで、温暖便座・温水洗淨は利用できませんが、通電すると利用可能です。

凍結予防と使用再開について

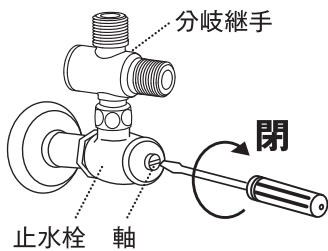
凍結予防の方法

寒冷地方部にお住まいの方や、寒冷地方でのご使用の凍結にご注意ください。
(氷点下では使用しない)

- ① 電源コードをコンセントから抜く

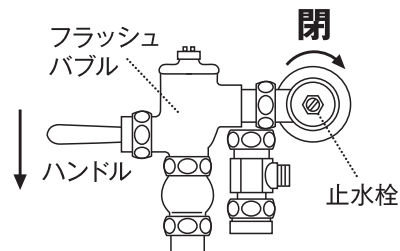
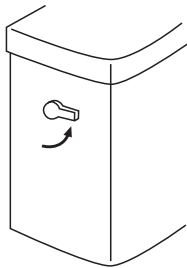


- ② 止水栓を完全に閉め、給水を止める。



A.ロータンク式

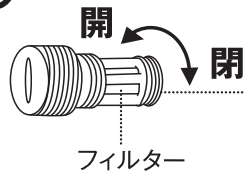
ロータンクのレバーを回して水を全て流しきる



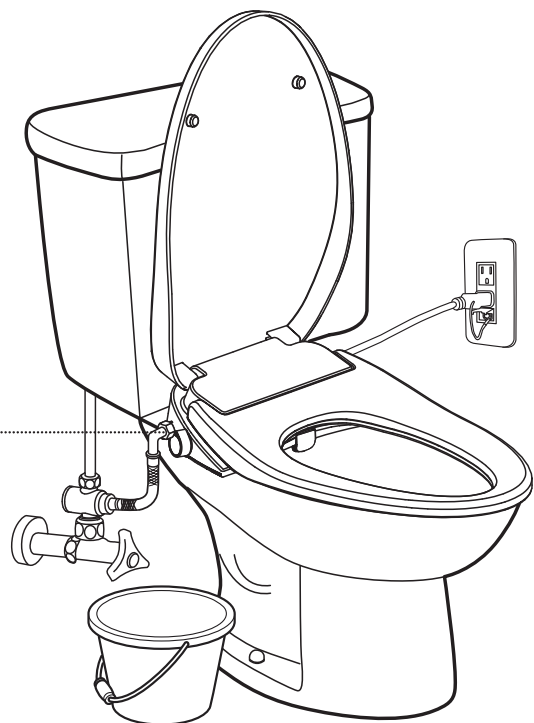
B.フラッシュバルブ式

ハンドルを押して、水を流しきる

- ③ バケツなどで受けて本体裏のドレン排水口(便座裏)をマイナスドライバーで開け、本体内の水を完全に抜く
※要便座の取り外し



水道水フィルター(水抜き栓)





凍結の恐れがある寒冷地に居住のお客様は、災害等で停電した場合、

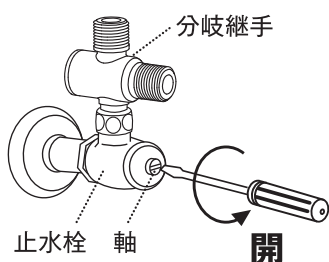
使用再開の方法

■室内が氷点下(0°C以下)の場合、凍結する可能性があり、使用できません。
室温が0°C以上であることを確認してから、使用を再開してください。

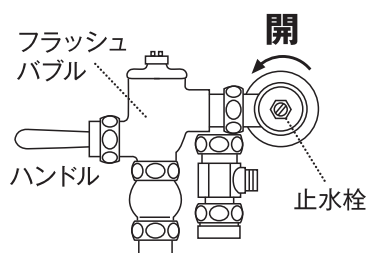
※推奨は4°C以上の環境

① 止水栓を開き給水する

A.ロータンク式

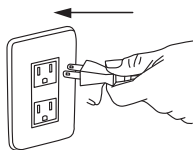


B.フラッシュバルブ式



② 電源コードをコンセントに差し込む。

※アース線接続



③ 着座してノブを傾け、洗浄することを確認する

確認と準備

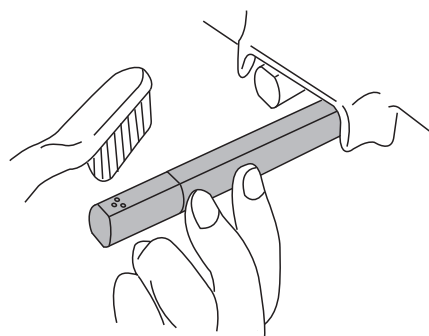
取付方法・機能の説明

お手入れ・必要な時

お手入れの方法

W洗浄ノズルを洗浄する

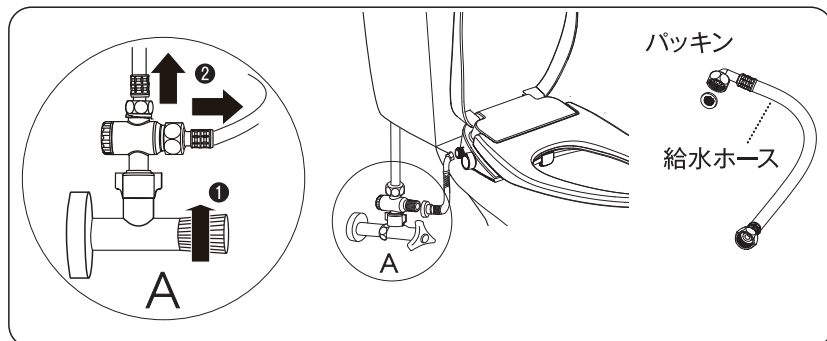
ノズルを手でゆっくり引き、柔らかい布やスポンジ、小さなブラシ等に中性洗剤を少量つけて、拭き掃除にてお手入れをしてください。



フィルタのメンテナンスについて



- フィルタ等、お掃除をする前に止水栓を確実に閉めて、電源コードを抜いてください。
※水漏れ、感電等のおそれがあります
- フィルタ清掃は、洗浄水の出が悪くなったと感じた時以外に行わないでください。
※過度な開け閉めは、水漏れの原因となりその他の事故の生じる原因となります
- フィルタ掃除は、製品から給水ホースを完全に取り外す必要があります
- フィルタ掃除後各部品を、お掃除のときに外した手順とは逆工程で再取り付けしてください。
- 洗浄ノズルは、圧力を逃がすため洗浄ノズルから水が出てくることがあり、また溶出物及び詰まりを確認するため、定期的に作動させる必要があります。



本体のお掃除

- お湯や水と中性洗剤で湿らせたスポンジまたは柔らかい布で、製品の表面を拭き掃除してください。
- 便座や、その他部分を清掃する場合は、上部カバーとシートリングを持ち上げてください。
- 洗浄に使用した洗剤を確実に落としてから装着してください。完全に洗い流される前に、再取り付けを行った場合、残った洗剤により製品が腐食することがあります。



製品が急に使えなくなった時

故障を疑う際は、下記の方法をお試しく下さい。

電源がつかない

- 電源を抜き差ししてみる
- 通電しているかを確認する
※その他の電化製品が使えるか

洗浄水が出ない

- 止水栓が閉まっていないか確認する
- 止水栓に水が来ているかを確認する
(フラッシュタンクに水が溜まるかを確認)



下記の場合は、早急に電源を抜き使用を中止してください。

- 警告音が鳴りやまない
- 本体や便座にひびが入っている
- 異常な音や焦げ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- 本体や操作部が異常に熱い

電源コードが破損した場合

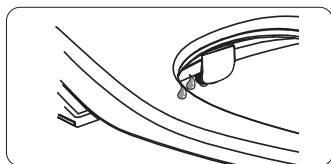
コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはその代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない

冬場に温水洗浄機能を使う際の注意事項



寒冷地等、寒さの厳しい地域で温水洗浄機能を利用する際は、温める能力が追いつかず洗浄水が冷たいと感ずることがあります。Kirei PLUSは瞬間式で洗浄水を温める方式を採用しておりますので、温かい洗浄水をご利用いただくために下記の方法で水の流量を絞り、十分に洗浄水を温めてから洗浄機能をご利用ください。

備考：洗浄水が真水温度で吐出されていない場合、故障ではなく入水温が低温のため能力が発揮できていない

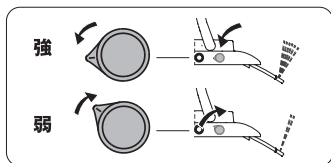


寒冷期に温水を作る方法

<湯量を使用中に絞る>

レバーを最大まで傾け、温め能力を起動します

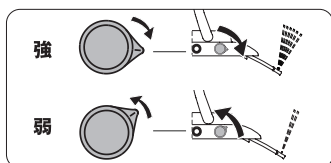
自動洗浄5秒後、洗浄流量を絞ることで洗浄水を温め、ノブの傾きを調整します



おしり洗浄(後ろに傾ける)

洗浄水量を徐々に絞り、温め能力を最大化します

※洗浄水圧は流量を絞ることで、弱まります



ビデ洗浄(前に傾ける)

洗浄水量を徐々に絞り、温め能力を最大化します

※洗浄水圧は流量を絞ることで、弱まります

故障かな？



水漏れが発生した際は、止水栓を閉め、水を遮断し電源をお切りください。
漏電により火災・感電の可能性があります。

現象	考えられる原因	解決法
便座の温度が低い	便座の温暖設定温度が低い	温暖便座の 設定温度を[あったか]にする
便座の温度が高い	便座の温暖設定温度が高い	温暖便座の 設定温度を[省エネ]にする
着座した時の 便座が冷たい	便座の温暖設定が オフになっている	便座の温暖設定を 「省エネ」か「あったか」に設定する
温暖設定しても、 便座が全く温かにならない	温暖便座用コイルの 接触不良	製品の交換
洗浄ノブを傾けても、 洗浄ノズルが 出てくるのが遅い	局部洗浄する前に、 常温水をノズルの 自動洗浄として吐出している	洗浄機能を使う際は、 約5秒間の自動洗浄を 行う為正常
洗浄水圧不足	ノブを十分に 傾けていない	ノブを十分に傾ける
洗浄水温不足	洗浄水温設定温度が低い	洗浄水温設定を上げる
洗浄水温が低すぎる	洗浄水温が43℃を超えた	安全機能が働き、 正常温度に戻るまで ノズルの自動洗浄モードと なっている
着座時、 水が漏れる音がする	着座センサーが働き、 ノズルを自動洗浄している	約5秒の吐出であれば正常
洗浄水温が上がらず、 ノブが点灯 または点滅しない	流量計故障	製品の取り換え

確認と準備

取付方法・機能の説明

お手入れ・必要な時

杉半 保証書

本保証書は、製品購入から記載内容により、
1年間を期限に製品の初期不良、自然故障に対して無償交換をお約束するものです。
製品ご購入から、1年間以内の初期不良、自然故障が発生した場合は、
下記電話番号にお問い合わせください。なお本保証書は、
購入日付が分かる記載、インターネットショッピングをご利用の場合は、
購入日付が分かる領収書等なき場合無効となりますので、大切に保管ください。

〈株式会社杉半相談受付センター〉

TEL:0574-66-2215 FAX:0574-66-2216

お客様	お名前	販売店	TEL	印	
	〒 住所				
		取付日	年	月	日
品番	HY-003S		保証期間	ご購入から1年間	

仕様

定格電源	交流100V 50/60Hz	
定格消費電力	960W (最大瞬間消費電力1450W)	
区分	瞬間式	
電源コード長さ	1.1m	
洗浄機能	吐出量	おしり洗浄 ビデ洗浄
	吐出温度	約500ml/分
	安全装置	OFF/常温 弱/35℃ 強/38℃
	逆流防止装置	温度調節ヒューズ
暖房便座	便座温度	逆流防止弁
	安全装置	OFF/常温 弱/33℃ 強/37℃
可動水圧範囲	温度調節ヒューズ	
給水温度	0.1~0.75MPa	
使用環境温度	4℃~35℃	
製品寸法	4℃~40℃ ※4℃以下の環境下は凍結、40℃以上では高温による不具合の可能性があります	
製品重量	縦508×横367×高95mm	
保有規格	3.2kg	
備考	JIS A 4422:2011及び水道法適合	
	温度調節機能は、ご使用の環境によって±2℃の誤差が生じることがございます	